



FC岐阜

株式会社岐阜フットボールクラブ

代表取締役社長 宮田博之 氏

ゼムノビッチ監督、竹田忠嗣キャプテンのご紹介

Jリーグの今シーズンが新型コロナウイルス禍を乗り越えて、いよいよ4か月遅れでスタートしました。そこで先ずは今シーズンの監督、キャプテンをご紹介します。

ゼムノビッチ監督です。セルビア共和国出身(旧ユーゴスラビア)で日本語を含め4ヶ国語を流暢に話せます。奥様は6ヶ国語を話せます。一人息子は清水市生まれで、現在ロンドンで大学1年生。

ご本人は自然が大好きで、岐阜は山、川が美しく最高に好きな場所で、よく近くの山登りにも出かけますし、温泉にも行きます。街のレストランも美味しく特に焼肉、焼鳥、餃子が気に入っています。在日25年、納豆も大好きな日本通です。

ゼムノビッチ監督の信条はサッカーも人生も同じで、常に全力投球で正しく行動することです。

ファン、サポーター、スポンサーが素晴らしいこのFC岐阜を愛する皆様とICHIGAN で、常に選手の力を引き出して、先ずはJ2、そしてJ1で戦えるクラブにしたいと話します。そのために90分で結果を出し、勝つチームに育て上げることに専念し、フィジカル、メンタル、コミュニケーションの優秀なコーチ、引っ張れる先輩選手、素晴らしい若手軍団を統率して皆さんと一緒に頑張り目標を達成します。

次にキャプテンの竹田忠嗣選手です。出身地はマレーシア

とあるのは父親がマレーシア・ペナンで3年間日本人学校の先生をしておられる時に生まれ、2年間を過ごした出生地です。プロになって千葉、岡山を経て岐阜に来て3年目ですが、素晴らしい人との出会いが多く、また食べ物も1番気に入っています。

飛騨牛だけでなく、豚肉も飛騨豚、ポーノポーク、けんどんポーク、その他たくさんありますが、漬けものステーキにもはまっています。

FC岐阜はサッカーを通して様々な面でも地域に根ざしていますし、Jリーグ初の試みも積極的にスピーディーに行っており、Jリーグの選手会の役員としてもFC岐阜を大変誇りに思っています。

2020年はFC岐阜も選手にとっても勝負所です。J3で優勝してJ2へのチーム目標は、意欲の高い選手ばかりで、ベクトルが合っています。また必ず達成できると思っています。これによってチーム全員の人生は大きく変わるし、変えなければならぬと決意しています。プロ16年目、キャプテンとして結果を出す決意です。

今シーズンは厳しい環境下ですが、FC岐阜はたくさんの感動を皆様と共有し、多くの日常の苦難も共に乗り越えられるよう、皆様とICHIGANで頑張っ参ります。

どうか大勢の皆さまのご支援ご声援をよろしくお願い申し上げます。



写真：©Kaz Photography/FC Gifu

ゼムノビッチ 監督

写真：©Kaz Photography/FC Gifu

**キャプテン
竹田忠嗣 選手****背番号 3
ポジション ディフェンダー**